

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2029年2月27日まで（2004年2月27日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド 受益証券
	マザーファンド	世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。</li> <li>ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行います。</li> <li>外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</li> <li>運用指図に関する権限の全部または一部をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドへの投資は、制限を設けません。</li> <li>株式への投資は、制限を設けません。</li> <li>同一銘柄の株式への投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資は、制限を設けません。</li> <li>同一銘柄の株式への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	<p>毎年2月27日および8月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

## グローバル・ヘルスケア &amp; バイオ・ファンド

愛称：健次

第24期（決算日：2016年2月29日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド（愛称：健次）」は、去る2月29日に第24期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12番1号  
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆ 目 次

## グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンドのご報告

◇最近5期の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇株式売買比率	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	11
◇お知らせ	12

## マザーファンドのご報告

◇グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	13
-------------------------------	----

**本資料の表記にあたって**

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

**○最近5期の運用実績**

決算期	基準価額			米ドル為替		参考指数※		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配額)	税込み 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率					
20期(2014年2月27日)	円 10,001	円 2,796	% 28.0	円 102.39	% 4.3	22,721	% 18.2	% 79.9	% —	百万円 7,051
21期(2014年8月27日)	10,000	522	5.2	104.10	1.7	24,145	6.3	86.5	—	29,417
22期(2015年2月27日)	10,000	2,810	28.1	119.27	14.6	26,861	11.2	80.6	—	74,525
23期(2015年8月27日)	10,001	402	4.0	120.06	0.7	26,472	△ 1.4	87.0	—	285,662
24期(2016年2月29日)	8,743	0	△12.6	113.62	△ 5.4	24,623	△ 7.0	97.5	—	337,388

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

**○当期中の基準価額と市況等の推移**

年月日	基準価額		米ドル為替		参考指数※		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率				
(期首) 2015年8月27日	円 10,001	% —	円 120.06	% —	26,472	% —	% 87.0	% —
8月末	10,258	2.6	121.18	0.9	26,972	1.9	94.8	—
9月末	9,142	△ 8.6	119.96	△ 0.1	24,431	△ 7.7	96.1	—
10月末	10,154	1.5	120.90	0.7	26,530	0.2	96.4	—
11月末	10,525	5.2	122.82	2.3	26,582	0.4	96.5	—
12月末	10,461	4.6	120.61	0.5	27,043	2.2	96.5	—
2016年1月末	9,094	△ 9.1	120.87	0.7	24,285	△ 8.3	96.1	—
(期末) 2016年2月29日	8,743	△12.6	113.62	△ 5.4	24,623	△ 7.0	97.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

**参考指数に関して**

※参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数(米ドル建て税引き後配当込み)(出所:MSCI)の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時(2000年7月28日)を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所:MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的は一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

以下、本報告書において上記「参考指数に関して」の記載を省略します。

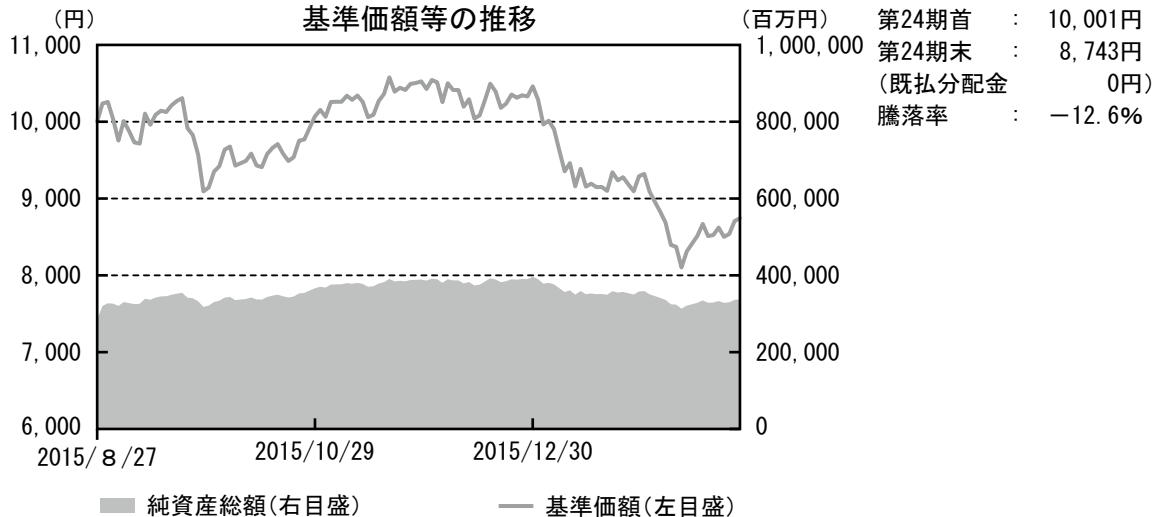
## 運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第24期：2015/8/28～2016/2/29)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ12.6%の下落となりました。



### 基準価額の変動要因

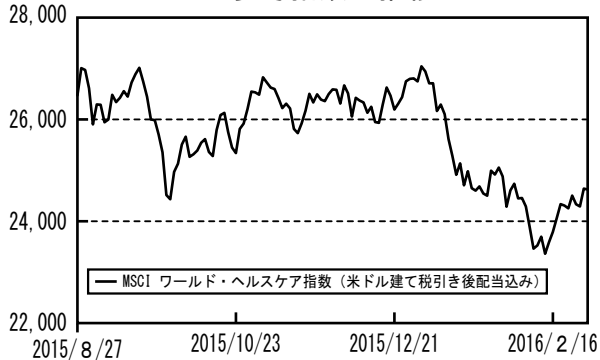
下落要因

- ・米ドルなどの投資先通貨が円に対して下落（円高）したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・バイオテクノロジー関連を中心にヘルスケアセクターの株価下落が、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第24期：2015/8/28～2016/2/29)

参考指数の推移

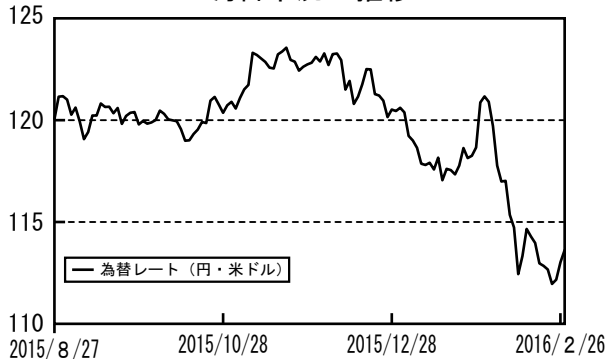


※当ファンドの参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数 (米ドル建て税引き後配当込み) (出所：MSCI) の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープンマザーファンドの設定時 (2000年7月28日) を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

◎株式市況

- ・当期のヘルスケアセクターの株価は、期を通してみると下落しました。
- ・ヘルスケアセクターの株価は、2015年9月後半に、中国など新興国経済の減速懸念や、ドイツの自動車大手の排ガス規制検査での不正などを受け、世界的に株式市場が下落したことや、米国の政治家による薬価引き下げ発言などを受けて急落しました。10月から12月末にかけては、ドラギ欧州中央銀行 (ECB) 総裁による追加金融緩和の示唆や中国の利下げ実施などを受け、反発しました。2016年1月から期末にかけては、世界的な景気減速懸念や原油価格の低迷などにより株式市場全般が下落しました。

(円) 為替市況の推移



(出所：三菱東京UFJ銀行／対顧客電信売買相場仲値)

◎為替市況

- ・当期の為替市況は、米ドルなどの投資先通貨が円に対して下落 (円高) しました。米ドル対円レートは、期の初めから2015年末まではほぼ変わらずに推移しました。2016年1月以降は、市場全体がリスク回避的となるなか安全資産として円が買われ、米ドルは円に対して下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

## ＜グローバル・ヘルスケア&amp;バイオ・ファンド＞

- ・グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行いました。実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

## ＜グローバル・ヘルスケア&amp;バイオ・オープン マザーファンド＞

- ・基準価額は期首に比べ、11.7%の下落となりました。
- ・世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療機器、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファンダメンタルズ分析<sup>\*1</sup>による徹底したボトムアップ・アプローチ<sup>\*2</sup>に基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、割安な価値（バリュエーション）に放置され、今後中期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などに投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- \*1 ファンダメンタルズとは、マクロ視点に立った場合、国の経済状態を表す経済指標のことを指し、ミクロ視点に立った場合には、個別企業の財務・収益状況を表す指標を指します。個別企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析を、ファンダメンタルズ分析といいます。
- \*2 ボトムアップ・アプローチとは、投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法をいいます。

- ・新規組入、全株売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

## ◎新規組入銘柄

- ・ウェルケア・ヘルス・プランズ（メディケアなどの米国の公的医療保険に特化した管理健康医療会社）：  
同社のアイオワ州におけるメディケア3年契約への入札が株式市場で嫌気され、株価が下落したのを好機と捉え、新規に組み入れました。
- ・チーム・ヘルス・ホールディングス（医療従事者の派遣会社）：  
買収したIPCヘルスケア社との統合効果などを評価し、新規に組み入れました。

## ◎全株売却銘柄

- ・ギリアド・サイエンシズ（HIVエイズ治療薬やC型肝炎治療薬などを開発する医薬品会社）：  
主要製品であるC型肝炎治療薬について競合薬との価格競争が懸念されたことなどから、全株売却しました。
- ・テバ（ジェネリック薬を主力とする医薬品会社）：  
アラガン社のジェネリック薬事業の買収発表により株価の上昇余地は限定的と判断したことなどから、全株売却しました。

以上の投資判断の結果、パフォーマンスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

- ・小野薬品工業（国内製薬会社）：  
がん治療薬の適応拡大承認による収益拡大期待などにより株価は大きく上昇し、プラスに寄与しました。
- ・メドトロニック（診断装置や治療器具などの医療機器メーカー）：  
アイルランドのコビディエン社との合併による節税効果や、米国での医療機器への物品税が2016年から2年間凍結されたことなどが好感され、株価は上昇し、プラスに寄与しました。

(マイナス要因)

- ・インサイト（バイオ医薬品会社）：  
中長期の成長性などが期待されP E R（株価収益率）が比較的高かった同社の株価は、2016年1月に入ると株式市場全体がリスク回避的となった影響から大きく下落し、マイナスに作用しました。
- ・リジェネロン・ファーマシューティカルズ（バイオ医薬品会社）：  
2012年以降に株価が急騰していたことにより、利益確定による売却の対象となりやすかったことなどから、株価は2016年1月以降大きく下落し、マイナスに作用しました。
- ・上記の結果、バイオテクノロジー関連を中心にヘルスケアセクターの株価が下落したことや、米ドルなどが円に対して下落（円高）したことがマイナスに作用しました。

(ご参考)

株式組入上位10銘柄

期首（2015年8月27日）

	銘柄	比率
1	プリストル・マイヤーズ スクイブ	6.4%
2	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	5.5%
3	イーライ・リリー	4.8%
4	ギリアド・サイエンシズ	4.0%
5	メルク	4.0%
6	メドトロニック	4.0%
7	アラガン	3.9%
8	塩野義製薬	2.7%
9	HCAホールディング	2.7%
10	マッケソン	2.5%

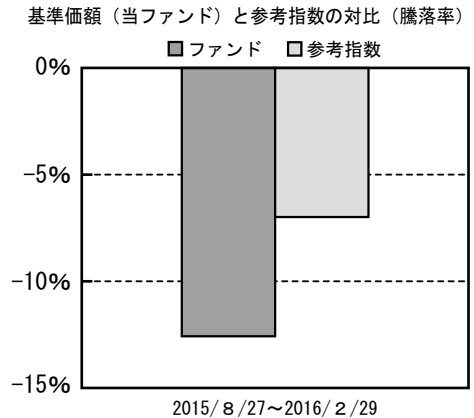
期末（2016年2月29日）

	銘柄	比率
1	アラガン	7.3%
2	プリストル・マイヤーズ スクイブ	6.6%
3	メルク	4.9%
4	ロシュ・ホールディング	4.8%
5	メドトロニック	4.7%
6	イーライ・リリー	4.7%
7	ユナイテッドヘルス・グループ	4.0%
8	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	3.6%
9	塩野義製薬	3.4%
10	インサイト	3.3%

(注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

### 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



### 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、分配金額を決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

#### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第24期	
	2015年8月28日～2016年2月29日	
当期分配金	—	
（対基準価額比率）	—%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	3	

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### <グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド>

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドを主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行います。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

### <グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・ヘルスケアセクターは、バイオ医薬品分野での活発なイノベーションや、米国食品医薬品局（FDA）による医薬品の承認ペースが2000年代に比べて上がっている傾向にあること、新興国の経済成長に伴う所得増加や人口増加、先進国の高齢化などを背景に、今後も中長期的な成長が見込まれています。また、世界的に景気の先行き不透明感が高まる中、ヘルスケアセクターの業績は景気や地政学リスクの影響を比較的受けにくいと考えられるため、投資魅力が相対的に高いとみています。
- ・ヘルスケアセクターの企業収益見通しは引き続き堅調とみられる一方で、2016年は米国大統領選挙を前に株価の変動が大きくなることが予想されます。大統領選挙に際し、薬価を含む医療費を巡る政治的議論が盛んになることは明らかで、一時的に企業収益などのファンダメンタルズが株価に反映されにくくなることも予想されますが、11月の大統領選挙が終われば、次第に落ち着きを取り戻すとみています。また、医療保険料の上昇や医療費の財政負担の高まりなどを背景に、医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力は今後も強まる見通しです。M & A（合併・買収）については、価格抑制圧力に対応すべく規模の拡大によるコスト削減や、開発中の新薬や新技術の獲得などを目的に、引き続き活発に行われるとみています。

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、医療機器、バイオテクノロジー、医療サービス企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、割安な価値（バリュエーション）に放置され、今後中期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などに投資を行う方針です。医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力や、バイオテクノロジーなどの技術の発展は、将来的に企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想されるため、個別銘柄の選別がより重要と考えており、銘柄を厳選していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年8月28日～2016年2月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	120	1.207	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	( 71)	(0.714)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	( 44)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 5)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.027	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	( 3)	(0.027)	
(c) 有価証券取引税	1	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 1)	(0.012)	
(d) その他費用	1	0.011	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	( 1)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	125	1.257	
期中の平均基準価額は、9,939円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年8月28日～2016年2月29日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン	マザーファンド	17,689,626	126,687,636	378,814	2,488,289

○株式売買比率

(2015年8月28日～2016年2月29日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	269,921,839千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	361,312,152千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.74	

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2015年8月28日～2016年2月29日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド>  
該当事項はございません。

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 197,725	百万円 58	% 0.0	百万円 72,196	百万円 1,243	% 1.7
平均保有割合	94.9%					

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	96,074千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1,316千円
(B) / (A)	1.4%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2016年2月29日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	35,297,080	52,607,892	334,028,552

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照下さい。

○投資信託財産の構成

(2016年2月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	334,028,552	97.5
コール・ローン等、その他	8,479,607	2.5
投資信託財産総額	342,508,159	100.0

(注) グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (320,321,442千円) の投資信託財産総額 (351,615,213千円) に対する比率は91.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.62円	1 ユーロ=124.11円	1 イギリスポンド=157.52円	1 スイスフラン=113.95円
1 デンマーククローネ=16.63円	1 香港ドル=14.62円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年2月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	342,508,159,307
コール・ローン等	8,050,535,580
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド(評価額)	334,028,552,099
未収入金	429,071,628
(B) 負債	5,119,855,147
未払解約金	793,320,816
未払信託報酬	4,306,957,309
その他未払費用	19,577,022
(C) 純資産総額 (A-B)	337,388,304,160
元本	385,907,816,220
次期繰越損益金	△ 48,519,512,060
(D) 受益権総口数	385,907,816,220口
1万口当たり基準価額 (C/D)	8,743円

<注記事項>

- ①期首元本額 285,642,696,448円  
 期中追加設定元本額 148,849,778,676円  
 期中一部解約元本額 48,584,658,904円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8743円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は48,519,512,060円です。

③分配金の計算過程

項 目	2015年8月28日～ 2016年2月29日
費用控除後の配当等収益額	0円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	0円
収益調整金額	118,162,784円
分配準備積立金額	8,319,348円
当ファンドの分配対象収益額	126,482,132円
1万口当たり収益分配対象額	3円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

④信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産額に応じて段階的に次に掲げる率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

25億円以下の部分に対して	年1万分の75
25億円超50億円以下の部分に対して	年1万分の65
50億円超100億円以下の部分に対して	年1万分の55
100億円超の部分に対して	年1万分の45

○損益の状況 (2015年8月28日～2016年2月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,791,155
受取利息	1,791,155
(B) 有価証券売買損益	△ 42,994,254,710
売買益	1,564,416,301
売買損	△ 44,558,671,011
(C) 信託報酬等	△ 4,326,534,331
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 47,318,997,886
(E) 前期繰越損益金	△ 32,404,585
(F) 追加信託差損益金	△ 1,168,109,589
(配当等相当額)	( 2,143,664)
(売買損益相当額)	(△ 1,170,253,253)
(G) 計 (D+E+F)	△ 48,519,512,060
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	△ 48,519,512,060
追加信託差損益金	△ 1,168,109,589
(配当等相当額)	( 118,162,784)
(売買損益相当額)	(△ 1,286,272,373)
分配準備積立金	8,319,348
繰越損益金	△ 47,359,721,819

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お 知 ら せ]

- ①信託金の限度額を7,500億円まで引き上げを行うための、所要の約款変更を2015年11月25日に行いました。
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

## グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

《第138期》決算日2015年9月28日 《第141期》決算日2015年12月28日  
 《第139期》決算日2015年10月27日 《第142期》決算日2016年1月27日  
 《第140期》決算日2015年11月27日 《第143期》決算日2016年2月29日

[計算期間：2015年8月28日～2016年2月29日]

「グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド」は、2月29日に第143期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第138期～第143期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。</li> </ul>
主要運用対象	世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資は、制限を設けません。</li> <li>同一銘柄の株式への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> </ul>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		参考指数※		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落率	円	騰落率	米ドル	騰落率			
114期(2013年9月27日)	39,924	4.2	98.96	0.8	19,485	1.3	96.0	—	2,880
115期(2013年10月28日)	40,529	1.5	97.56	△ 1.4	20,250	3.9	97.0	—	3,137
116期(2013年11月27日)	43,702	7.8	101.36	3.9	20,938	3.4	91.6	—	5,978
117期(2013年12月27日)	45,804	4.8	105.05	3.6	21,080	0.7	93.9	—	10,652
118期(2014年1月27日)	46,135	0.7	102.32	△ 2.6	21,324	1.2	93.1	—	11,918
119期(2014年2月27日)	49,894	8.1	102.39	0.1	22,721	6.6	88.2	—	15,880
120期(2014年3月27日)	47,504	△ 4.8	101.85	△ 0.5	22,249	△ 2.1	95.7	—	24,117
121期(2014年4月28日)	46,803	△ 1.5	102.12	0.3	22,126	△ 0.6	94.1	—	28,984
122期(2014年5月27日)	48,142	2.9	101.95	△ 0.2	22,837	3.2	96.6	—	31,384
123期(2014年6月27日)	50,250	4.4	101.55	△ 0.4	23,504	2.9	95.8	—	34,072
124期(2014年7月28日)	50,562	0.6	101.79	0.2	23,584	0.3	96.1	—	35,995
125期(2014年8月27日)	53,296	5.4	104.10	2.3	24,145	2.4	97.3	—	34,387
126期(2014年9月29日)	56,075	5.2	109.37	5.1	24,402	1.1	95.7	—	48,226
127期(2014年10月27日)	56,088	0.0	107.94	△ 1.3	24,339	△ 0.3	96.7	—	53,366
128期(2014年11月27日)	64,186	14.4	117.52	8.9	25,536	4.9	96.1	—	64,601
129期(2014年12月29日)	66,387	3.4	120.51	2.5	25,283	△ 1.0	94.7	—	83,860
130期(2015年1月27日)	68,741	3.5	118.57	△ 1.6	26,136	3.4	95.9	—	97,012
131期(2015年2月27日)	69,742	1.5	119.27	0.6	26,861	2.8	96.0	—	79,361
132期(2015年3月27日)	70,439	1.0	119.17	△ 0.1	27,070	0.8	93.9	—	185,163
133期(2015年4月27日)	72,258	2.6	118.93	△ 0.2	27,934	3.2	94.9	—	231,347
134期(2015年5月27日)	75,149	4.0	123.01	3.4	27,730	△ 0.7	96.3	—	257,914
135期(2015年6月29日)	77,214	2.7	122.96	△ 0.0	28,124	1.4	95.7	—	285,796
136期(2015年7月27日)	78,179	1.2	123.68	0.6	28,138	0.0	96.4	—	305,833
137期(2015年8月27日)	71,886	△ 8.0	120.06	△ 2.9	26,472	△ 5.9	98.0	—	273,392
138期(2015年9月28日)	68,916	△ 4.1	120.40	0.3	25,354	△ 4.2	97.1	—	348,604
139期(2015年10月27日)	70,481	2.3	120.76	0.3	25,917	2.2	97.4	—	370,039
140期(2015年11月27日)	75,981	7.8	122.74	1.6	26,589	2.6	97.5	—	405,134
141期(2015年12月28日)	74,955	△ 1.4	120.52	△ 1.8	26,805	0.8	96.3	—	406,499
142期(2016年1月27日)	67,275	△ 10.2	118.25	△ 1.9	25,055	△ 6.5	97.0	—	370,862
143期(2016年2月29日)	63,494	△ 5.6	113.62	△ 3.9	24,623	△ 1.7	98.5	—	350,544

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

参考指数に関して

※参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数(米ドル建て税引き後配当込み)(出所:MSCI)の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時(2000年7月28日)を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。  
出所:MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的は一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。  
以下、本報告書において上記「参考指数に関して」の記載を省略します。



○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		米ドル為替		参 考 指 数		株式組入 比 率	株式先物 比 率
			騰落率		騰落率		騰落率		
第138期	(期 首) 2015年8月27日	円 71,886	% —	円 120.06	% —	26,472	% —	98.0	% —
	8月末	73,776	2.6	121.18	0.9	26,972	1.9	95.8	—
	(期 末) 2015年9月28日	68,916	△ 4.1	120.40	0.3	25,354	△ 4.2	97.1	—
第139期	(期 首) 2015年9月28日	68,916	—	120.40	—	25,354	—	97.1	—
	9月末	65,791	△ 4.5	119.96	△ 0.4	24,431	△ 3.6	97.1	—
	(期 末) 2015年10月27日	70,481	2.3	120.76	0.3	25,917	2.2	97.4	—
第140期	(期 首) 2015年10月27日	70,481	—	120.76	—	25,917	—	97.4	—
	10月末	73,292	4.0	120.90	0.1	26,530	2.4	97.4	—
	(期 末) 2015年11月27日	75,981	7.8	122.74	1.6	26,589	2.6	97.5	—
第141期	(期 首) 2015年11月27日	75,981	—	122.74	—	26,589	—	97.5	—
	11月末	76,145	0.2	122.82	0.1	26,582	△ 0.0	97.5	—
	(期 末) 2015年12月28日	74,955	△ 1.4	120.52	△ 1.8	26,805	0.8	96.3	—
第142期	(期 首) 2015年12月28日	74,955	—	120.52	—	26,805	—	96.3	—
	12月末	75,819	1.2	120.61	0.1	27,043	0.9	97.5	—
	(期 末) 2016年1月27日	67,275	△10.2	118.25	△ 1.9	25,055	△ 6.5	97.0	—
第143期	(期 首) 2016年1月27日	67,275	—	118.25	—	25,055	—	97.0	—
	1月末	65,946	△ 2.0	120.87	2.2	24,285	△ 3.1	97.1	—
	(期 末) 2016年2月29日	63,494	△ 5.6	113.62	△ 3.9	24,623	△ 1.7	98.5	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

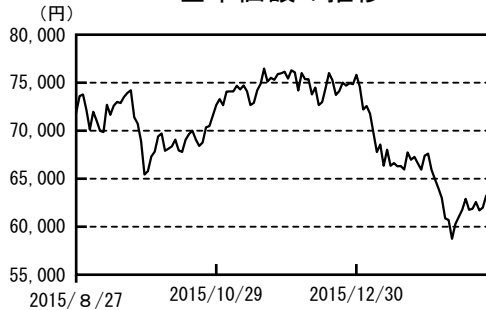
当作成期中の基準価額等の推移について

(第138期～第143期：2015/8/28～2016/2/29)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ11.7%の下落となりました。

### 基準価額の推移



### 基準価額の変動要因

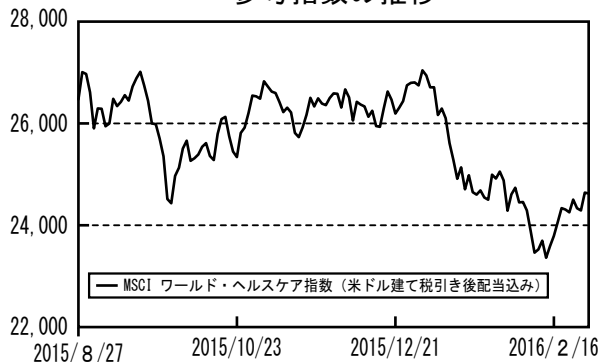
下落要因

- ・米ドルなどの投資先通貨が円に対して下落（円高）したことなどが、基準価額の下落要因となりました。
- ・バイオテクノロジー関連を中心にヘルスケアセクターの株価下落が、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第138期～第143期：2015/8/28～2016/2/29)

参考指数の推移

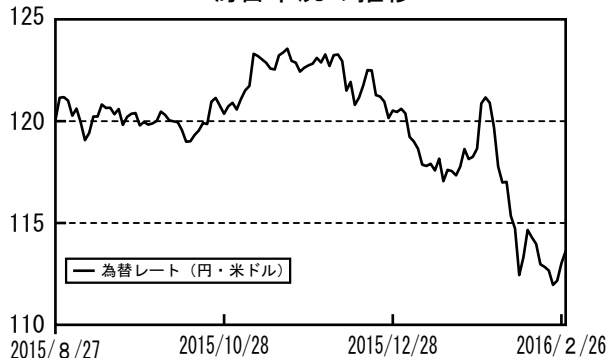


※当マザーファンドの参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数 (米ドル建て税引き後配当込み) (出所：MSCI) の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時 (2000年7月28日) を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

◎株式市況

- ・ヘルスケアセクターの株価は、当作成期を通してみると下落しました。
- ・ヘルスケアセクターの株価は、2015年9月後半に、中国など新興国経済の減速懸念や、ドイツの自動車大手の排ガス規制検査での不正などを受け、世界的に株式市場が下落したことや、米国の政治家による薬価引き下げ発言などを受けて急落しました。10月から12月末にかけては、ドラギ欧州中央銀行 (ECB) 総裁による追加金融緩和の示唆や中国の利下げ実施などを受け、反発しました。2016年1月から当作成期末にかけては、世界的な景気減速懸念や原油価格の低迷などにより株式市場全般が下落しました。

(円) 為替市況の推移



(出所：三菱東京UFJ銀行／対顧客電信売買相場仲値)

◎為替市況

- ・当作成期の為替市況は、米ドルなどの投資先通貨が円に対して下落 (円高) しました。米ドル対円レートは、当作成期の初めから2015年末まではほぼ変わらずに推移しました。2016年1月以降は、市場全体がリスク回避的となるなか安全資産として円が買われ、米ドルは円に対して下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・基準価額は当作成期首に比べ、11.7%の下落となりました。
- ・世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療機器、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファンダメンタルズ分析<sup>\*1</sup>による徹底したボトムアップ・アプローチ<sup>\*2</sup>に基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、割安な価値（バリュエーション）に放置され、今後中期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などに投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。

\*1 ファンダメンタルズとは、マクロ視点に立った場合、国の経済状態を表す経済指標のことを指し、ミクロ視点に立った場合には、個別企業の財務・収益状況を表す指標を指します。個別企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析を、ファンダメンタルズ分析といいます。

\*2 ボトムアップ・アプローチとは、投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法をいいます。

- ・新規組入、全株売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

## ◎新規組入銘柄

- ・ウェルケア・ヘルス・プランズ（メディケアなどの米国の公的医療保険に特化した管理健康医療会社）：  
同社のアイオワ州におけるメディケア3年契約への入札が株式市場で嫌気され、株価が下落したのを好機と捉え、新規に組み入れました。
- ・チーム・ヘルス・ホールディングス（医療従事者の派遣会社）：  
買収したIPCヘルスケア社との統合効果などを評価し、新規に組み入れました。

## ◎全株売却銘柄

- ・ギリアド・サイエンシズ（HIVエイズ治療薬やC型肝炎治療薬などを開発する医薬品会社）：  
主要製品であるC型肝炎治療薬について競合薬との価格競争が懸念されたことなどから、全株売却しました。
- ・テバ（ジェネリック薬を主力とする医薬品会社）：  
アラガン社のジェネリック薬事業の買収発表により株価の上昇余地は限定的と判断したことなどから、全株売却しました。

以上の投資判断の結果、パフォーマンスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

- ・小野薬品工業（国内製薬会社）：  
がん治療薬の適応拡大承認による収益拡大期待などにより株価は大きく上昇し、プラスに寄与しました。
- ・メドトロニック（診断装置や治療器具などの医療機器メーカー）：  
アイルランドのコビディエン社との合併による節税効果や、米国での医療機器への物品税が2016年から2年間凍結されたことなどが好感され、株価は上昇し、プラスに寄与しました。

(マイナス要因)

- ・インサイト（バイオ医薬品会社）：  
中長期の成長性などが期待されP E R（株価収益率）が比較的高かった同社の株価は、2016年1月に入ると株式市場全体がリスク回避的となった影響から大きく下落し、マイナスに作用しました。
- ・リジェネロン・ファーマシューティカルズ（バイオ医薬品会社）：  
2012年以降に株価が急騰していたことにより、利益確定による売却の対象となりやすかったことなどから、株価は2016年1月以降大きく下落し、マイナスに作用しました。
- ・上記の結果、バイオテクノロジー関連を中心にヘルスケアセクターの株価が下落したことや、米ドルなどが円に対して下落（円高）したことがマイナスに作用しました。

(ご参考)

### 株式組入上位10銘柄

作成期首（2015年8月27日）

	銘柄	比率
1	プリストル・マイヤーズ スクイブ	6.4%
2	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	5.5%
3	イーライ・リリー	4.8%
4	ギリアド・サイエンシズ	4.0%
5	メルク	4.0%
6	メドトロニック	4.0%
7	アラガン	3.9%
8	塩野義製薬	2.7%
9	HCAホールディング	2.7%
10	マッケソン	2.5%



作成期末（2016年2月29日）

	銘柄	比率
1	アラガン	7.3%
2	プリストル・マイヤーズ スクイブ	6.6%
3	メルク	4.9%
4	ロシュ・ホールディング	4.8%
5	メドトロニック	4.7%
6	イーライ・リリー	4.7%
7	ユナイテッドヘルス・グループ	4.0%
8	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	3.6%
9	塩野義製薬	3.4%
10	インサイト	3.3%

(注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当マザーファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。当マザーファンドの作成期中の騰落率はマイナス11.7%、参考指数の作成期中の騰落率はマイナス7.0%となりました。

## 今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・ヘルスケアセクターは、バイオ医薬品分野での活発なイノベーションや、米国食品医薬品局（FDA）による医薬品の承認ペースが2000年代に比べて上がっている傾向にあること、新興国の経済成長に伴う所得増加や人口増加、先進国の高齢化などを背景に、今後も中長期的な成長が見込まれています。また、世界的に景気の先行き不透明感が高まる中、ヘルスケアセクターの業績は景気や地政学リスクの影響を比較的受けにくいと考えられるため、投資魅力が相対的に高いとみています。
- ・ヘルスケアセクターの企業収益見通しは引き続き堅調とみられる一方で、2016年は米国大統領選挙を前に株価の変動が大きくなることが予想されます。大統領選挙に際し、薬価を含む医療費を巡る政治的議論が盛んになることは明らかで、一時的に企業収益などのファンダメンタルズが株価に反映されにくくなることも予想されますが、11月の大統領選挙が終われば、次第に落ち着きを取り戻すとみています。また、医療保険料の上昇や医療費の財政負担の高まりなどを背景に、医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力は今後も強まる見通しです。M&A（合併・買収）については、価格抑制圧力に対応すべく規模の拡大によるコスト削減や、開発中の新薬や新技術の獲得などを目的に、引き続き活発に行われるとみています。

### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、医療機器、バイオテクノロジー、医療サービス企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、割安な価値（バリュエーション）に放置され、今後中期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などに投資を行う方針です。医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力や、バイオテクノロジーなどの技術の発展は、将来的に企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想されるため、個別銘柄の選別がより重要と考えており、銘柄を厳選していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年8月28日～2016年2月29日)

項 目	第138期～第143期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 19 (19)	% 0.027 (0.027)	(a) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	9 (9)	0.012 (0.012)	(b) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用)	4 (4)	0.006 (0.006)	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	32	0.045	
作成期中の平均基準価額は、71,794円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年8月28日～2016年2月29日)

株式

		第138期～第143期			
		買		付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 1,861	千円 8,999,730	千株 273	千円 1,243,410
外国	アメリカ	百株 195,052	千アメリカドル 1,357,209	百株 84,706	千アメリカドル 570,723
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フランス	876	9,485	—	—
	スペイン	—	—	3,718	6,213
	ベルギー	1,771	12,566	—	—
外国	イギリス	18,300	千イギリスポンド 45,973	17,512	千イギリスポンド 16,161
	スイス	5,270	千スイスフラン 127,481	—	千スイスフラン —

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2015年8月28日～2016年2月29日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第138期～第143期
(a) 当作成期中の株式売買金額	269,875,459千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	361,312,152千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.74

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。



○利害関係人との取引状況等

(2015年8月28日～2016年2月29日)

利害関係人との取引状況

区 分	第138期～第143期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株式	百万円 197,701	百万円 58	% 0.0	百万円 72,174	百万円 1,243	% 1.7

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第138期～第143期
売買委託手数料総額 (A)	101,256千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1,383千円
(B) / (A)	1.4%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2016年2月29日現在)

国内株式

銘 柄	第137期末	第143期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
医薬品 (89.3%)			
塩野義製薬	1,576.1	2,432.5	11,761,137
エーザイ	448.9	671.1	4,669,513
小野薬品工業	94.8	149.3	3,122,609
第一三共	900.2	1,197	2,820,132
電気機器 (—%)			
シスメックス	76.9	—	—
精密機器 (10.7%)			
オリンパス	413.6	648.1	2,670,172
合 計	株 数・金 額	3,510	5,098
	銘柄数<比率>	6	5
			<7.1%>

(注) 銘柄欄の ( ) 内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注) 評価額欄の < > 内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	第137期末		第143期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	7,193	12,531	49,526	5,627,160	ヘルスケア機器・サービス
AGILENT TECHNOLOGIES INC	3,607	2,631	9,892	1,124,031	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BOSTON SCIENTIFIC CORP	25,583	46,871	80,665	9,165,189	ヘルスケア機器・サービス
BAXTER INTERNATIONAL INC	9,303	12,394	48,870	5,552,691	ヘルスケア機器・サービス
BECTON DICKINSON AND CO	3,322	3,824	57,224	6,501,805	ヘルスケア機器・サービス
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	24,203	32,608	202,988	23,063,514	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CVS HEALTH CORP	2,329	1,909	18,646	2,118,650	食品・生活必需品小売り
COMMUNITY HEALTH SYSTEMS INC	—	4,255	6,630	753,379	ヘルスケア機器・サービス
CIGNA CORP	834	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
CARDINAL HEALTH INC	2,732	4,386	36,424	4,138,543	ヘルスケア機器・サービス
JOHNSON & JOHNSON	5,204	7,683	81,273	9,234,261	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ELI LILLY & CO	13,465	19,550	143,892	16,349,089	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDTRONIC PLC	12,538	18,668	144,286	16,393,825	ヘルスケア機器・サービス
MERCK & CO. INC.	16,777	29,694	150,374	17,085,552	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MCKESSON CORP	2,894	2,936	46,042	5,231,315	ヘルスケア機器・サービス
STRYKER CORP	3,289	5,648	57,252	6,505,004	ヘルスケア機器・サービス
ST JUDE MEDICAL INC	6,105	9,090	49,617	5,637,587	ヘルスケア機器・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,572	4,605	60,200	6,840,004	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITEDHEALTH GROUP INC	3,017	10,128	122,890	13,962,865	ヘルスケア機器・サービス
VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	1,078	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	4,294	1,544	12,290	1,396,460	食品・生活必需品小売り
WELLCARE HEALTH PLANS INC	—	3,213	29,488	3,350,530	ヘルスケア機器・サービス
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	1,176	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
MEDICINES COMPANY	3,367	5,177	16,723	1,900,173	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GILEAD SCIENCES INC	8,587	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CERNER CORP	2,101	6,191	32,203	3,658,961	ヘルスケア機器・サービス
ALKERMES PLC	8,294	12,305	41,357	4,699,093	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AETNA INC	2,807	4,862	53,450	6,073,079	ヘルスケア機器・サービス
INCYTE CORP	2,797	13,522	100,529	11,422,208	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIOGEN INC	1,062	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ILLUMINA INC	1,436	2,137	33,199	3,772,113	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	3,532	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TEVA PHARMACEUTICAL-SP ADR	5,443	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ARENA PHARMACEUTICALS INC	30,936	33,149	5,071	576,261	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CELGENE CORP	4,758	9,513	98,336	11,173,016	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LIFEPOINT HEALTH INC	—	1,443	9,186	1,043,782	ヘルスケア機器・サービス
MYLAN NV	8,603	16,974	80,018	9,091,691	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SEATTLE GENETICS INC	1,687	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ATHENAHEALTH INC	1,962	893	11,461	1,302,202	ヘルスケア機器・サービス
ALLERGAN PLC	2,884	7,513	223,958	25,446,127	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HCA HOLDINGS INC	6,972	7,822	55,100	6,260,533	ヘルスケア機器・サービス
REGENERON PHARMACEUTICALS	2,356	2,840	111,971	12,722,164	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ENVISION HEALTHCARE HOLDINGS	5,906	11,277	25,452	2,891,952	ヘルスケア機器・サービス
IMS HEALTH HOLDINGS INC	3,770	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
QUINTILES TRANSNATIONAL HOLD	2,485	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

銘柄		第137期末		第 143 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカドル	千円	
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC		2,133	3,054	17,715	2,012,804	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACADIA HEALTHCARE CO INC		1,556	2,563	14,432	1,639,862	ヘルスケア機器・サービス
ACHILLION PHARMACEUTICALS		9,702	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACORDA THERAPEUTICS INC		2,565	3,692	12,188	1,384,832	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AGIOS PHARMACEUTICALS INC		1,644	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IRONWOOD PHARMACEUTICALS INC		7,295	8,210	7,865	893,714	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN		2,155	8,219	51,209	5,818,406	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BAXALTA INC		3,315	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TEAM HEALTH HOLDINGS INC		—	8,451	38,013	4,319,093	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	293,649 50	403,995 41	2,447,927 —	278,133,543 <79.3%>	
(ユーロ…フランス)				千ユーロ		
ESSILOR INTERNATIONAL		1,792	2,669	29,093	3,610,809	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,792 1	2,669 1	29,093 —	3,610,809 <1.0%>	
(ユーロ…スペイン)						
ALMIRALL SA		3,718	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,718 1	— —	— —	— <—%>	
(ユーロ…ベルギー)						
UCB SA		3,622	5,393	38,309	4,754,534	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,622 1	5,393 1	38,309 —	4,754,534 <1.4%>	
ユ ー ロ 計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,133 3	8,062 2	67,402 —	8,365,344 <2.4%>	
(イギリス)				千イギリスポンド		
ASTRAZENECA PLC		8,242	16,785	70,574	11,116,817	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SMITH & NEPHEW PLC		10,408	15,497	18,240	2,873,263	ヘルスケア機器・サービス
MEDICLINIC INTERNATIONAL PLC		8,349	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
NMC HEALTH PLC		4,494	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	31,495 4	32,282 2	88,814 —	13,990,080 <4.0%>	
(スイス)				千スイスフラン		
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN		991	5,727	148,974	16,975,657	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACTELION LTD-REG		1,135	1,669	23,256	2,650,131	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,126 2	7,397 2	172,231 —	19,625,789 <5.6%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	336,404 59	451,737 47	— —	320,114,757 <91.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。  
(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2016年2月29日現在)

項 目	第 143 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	345,158,322	98.2
コール・ローン等、その他	6,456,891	1.8
投資信託財産総額	351,615,213	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (320,321,442千円) の投資信託財産総額 (351,615,213千円) に対する比率は91.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.62円	1 ユーロ=124.11円	1 イギリスポンド=157.52円	1 スイスフラン=113.95円
1 デンマーククローネ=16.63円	1 香港ドル=14.62円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末
	2015年9月28日現在	2015年10月27日現在	2015年11月27日現在	2015年12月28日現在	2016年1月27日現在	2016年2月29日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	357,586,848,292	371,332,870,326	407,977,277,363	407,133,862,713	382,314,225,255	351,926,927,024
コール・ローン等	13,614,564,029	8,539,693,464	11,098,554,011	15,299,780,604	15,677,636,145	5,935,760,204
株式(評価額)	338,579,131,527	360,548,685,341	394,965,992,518	391,451,241,204	359,725,609,245	345,158,322,587
未収入金	4,916,633,491	1,818,219,087	1,617,232,929	46,673,643	6,673,966,142	313,066,459
未収配当金	476,501,809	426,260,133	295,481,834	336,145,957	236,987,973	519,777,774
未収利息	17,436	12,301	16,071	21,305	25,750	—
(B) 負債	8,982,782,112	1,293,416,333	2,842,630,445	634,847,682	11,452,187,036	1,382,331,414
未払金	8,982,782,112	1,278,556,030	2,620,913,434	580,934,719	11,417,446,928	917,079,622
未払解約金	—	14,860,303	221,717,011	53,912,963	34,740,108	465,251,792
(C) 純資産総額(A-B)	348,604,066,180	370,039,453,993	405,134,646,918	406,499,015,031	370,862,038,219	350,544,595,610
元本	50,583,633,957	52,501,882,976	53,320,217,848	54,232,595,417	55,126,319,239	55,208,964,201
次期繰越損益金	298,020,432,223	317,537,571,017	351,814,429,070	352,266,419,614	315,735,718,980	295,335,631,409
(D) 受益権総口数	50,583,633,957口	52,501,882,976口	53,320,217,848口	54,232,595,417口	55,126,319,239口	55,208,964,201口
1万口当たり基準価額(C/D)	68,916円	70,481円	75,981円	74,955円	67,275円	63,494円

○損益の状況

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2015年8月28日～ 2015年9月28日	2015年9月29日～ 2015年10月27日	2015年10月28日～ 2015年11月27日	2015年11月28日～ 2015年12月28日	2015年12月29日～ 2016年1月27日	2016年1月28日～ 2016年2月29日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	498,745,765	274,483,646	170,473,990	390,883,295	255,136,627	520,189,275
受取配当金	497,545,831	273,971,449	169,905,085	390,236,985	254,486,389	519,777,781
受取利息	1,199,934	512,197	568,905	646,310	648,571	386,929
その他収益金	-	-	-	-	1,667	24,565
(B) 有価証券売買損益	△ 15,837,343,406	8,158,094,149	28,957,675,604	△ 5,837,080,188	△ 42,173,727,093	△ 21,479,326,141
売買益	3,550,473,061	15,846,111,716	32,203,945,308	7,477,008,678	384,999,597	6,038,308,520
売買損	△ 19,387,816,467	△ 7,688,017,567	△ 3,246,269,704	△ 13,314,088,866	△ 42,558,726,690	△ 27,517,634,661
(C) 保管費用等	△ 3,284,736	△ 3,340,046	△ 4,050,907	△ 3,693,871	△ 3,396,336	△ 3,322,064
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 15,341,882,377	8,429,237,749	29,124,098,687	△ 5,449,890,764	△ 41,921,986,802	△ 20,962,458,930
(E) 前期繰越損益金	235,361,479,036	298,020,432,223	317,537,571,017	351,814,429,070	352,266,419,614	315,735,718,980
(F) 追加信託差損益金	78,424,768,920	11,430,206,218	5,976,585,862	6,719,641,614	5,857,340,599	2,194,684,310
(G) 解約差損益金	△ 423,933,356	△ 342,305,173	△ 823,826,496	△ 817,760,306	△ 466,054,431	△ 1,632,312,951
(H) 計 (D+E+F+G)	298,020,432,223	317,537,571,017	351,814,429,070	352,266,419,614	315,735,718,980	295,335,631,409
次期繰越損益金 (H)	298,020,432,223	317,537,571,017	351,814,429,070	352,266,419,614	315,735,718,980	295,335,631,409

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 38,031,388,862円  
 作成期中追加設定元本額 17,955,957,820円  
 作成期中一部解約元本額 778,382,481円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末6,3494円です。
- ②作成期末における元本の内訳（当該投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）  
 グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Aコース（為替ヘッジあり） 385,291,180円  
 グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Bコース（為替ヘッジなし） 2,215,780,606円  
 グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド 52,607,892,415円  
 合計 55,208,964,201円

[お知らせ]

信託金の限度額を7,500億円まで引き上げを行うための、所要の約款変更を2015年10月27日に行いました。